

消火栓を使用した初期消火訓練等

申請マニュアル

目次

1 はじめに

- (1) 経緯・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
- (2) 消火栓を使用できる条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
- (3) 消火栓とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
- (4) 耐震性貯水槽消火栓の訓練使用と赤水発生を抑止・・・・ 2 ページ
- (5) 一般の消火栓と耐震性貯水槽消火栓との操作性の違い・・・・ 2 ページ

2 必要資機材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ

3 事務フロー

- (1) 資機材購入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
- (2) 訓練実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
- (3) 消火栓使用許可・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ページ
- (4) 使用水量報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ

4 様式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ

1 はじめに

(1) 経緯・目的

大規模災害発生時には、市内で同時多発的に火災が発生することが想定され、消防署や消防団による消火活動の手が足らなくなることが見込まれます。

このような状況において、地域の自主防災組織が消火栓を使用した初期消火活動を行うことにより、火災による被害の拡大を軽減することを目的とし、令和2年11月及び12月に白井市内に給水している水道事業者と覚書を締結しました。

これにより、大規模災害発生時に自主防災組織が消火栓を使用した初期消火活動を行うことができるようになりました。

(2) 消火栓を使用できる条件

条件：専用資機材の購入及び年1回以上の訓練実施

※消火栓を使用した初期消火活動は、大規模災害（震度6弱以上）発生時に消防車両の到着が見込めない場合に、消火栓を使用した初期消火訓練を行った者が行うことができます。

※訓練を行う場合は、必ず消防職員の立会が必要となります。

(3) 消火栓とは

消火栓とは、消火活動に必要な水を供給するための水道設備で、構造は、水を出したり止めたりするための開閉バルブと、水が出る吐出口で構成されており、水道管に直接取り付けてあります。また、蓋には「消火栓」との表示があり、目立つように黄色で塗色されています。（一部、黄色で塗色されていないものや蓋周囲の道路面に黄色の焼き付けがされているもの、構造が異なる場合もあります。）さらに、場所によっては消火栓付近に消火栓標識が立てられています。

【消火栓】



【吐水口】



(4) 耐震性貯水槽消火栓の訓練使用と赤水発生を抑止

印西地区消防組合消防本部に設置されている耐震性貯水槽消火栓（給水栓）は、千葉県企業局の水道管と循環方式で接続されている消火栓で、火災時の補水等で消防組合が普段から使用している消火栓です。

消火栓を使用すると、各家庭や事業所などの水道から赤水が出てしまうことがあります。これは、普段使用していない消火栓の使用により、水道管内の水の流れが急に変わり、水道管内の錆や沈殿物がかき回されることで起こります。

（※赤水の発生により多額の賠償金を請求された事例があります。）

白井市では、赤水が発生しないようにできる限りの注意を行い、自主防災組織が行う消火栓を使用した初期消火訓練は、原則、耐震性貯水槽消火栓を使用した訓練とします。

(5) 一般の消火栓 と 耐震性貯水槽消火栓の操作性の違い

操作性の違いは、「開閉バルブを回す方向が逆」なことです。

一般の消火栓は、開閉バルブに取付けたスピンドルドライバーを時計回り（右回り）に回して放水しますが、耐震性貯水槽消火栓は反時計回り（左回り）に回します。

訓練で行った開閉バルブを回す方向と、災害時に使用する消火栓の開閉バルブを回す方向が逆になることに注意してください。

（稀に、訓練同様に反時計回りに回す消火栓があります。）

【一般の消火栓】
開閉バルブを回す方向



【耐震性貯水槽消火栓】
開閉バルブを回す方向



2 必要資機材

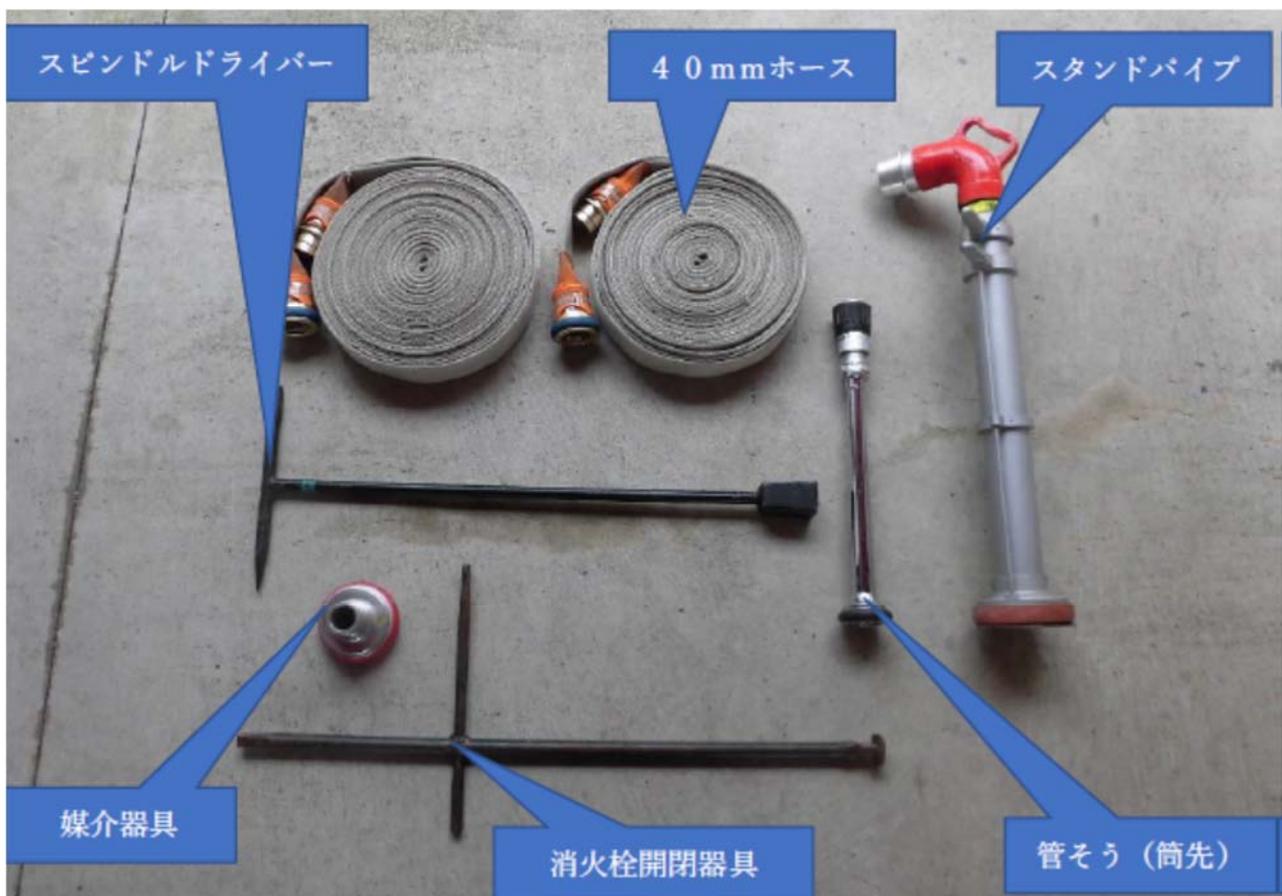
消火栓を活用した初期消火を行うには、専用の資機材が必要です。

また、資機材の適切な管理のため、資機材を準備した後に資機材の管理者等届出書を提出する必要があります。

- ①スタンドパイプ
地下式消火栓へホースを接続するための補助器具
- ②媒介金具
スタンドパイプ（口径65mm）とホース（口径40mm）を接続するための器具
- ③スピンドルドライバー
消火栓のバルブを開閉するための器具
- ④40mmホース
口径40mm、長さ1本20m、ホースを結合し延長が可能
- ⑤消火栓開閉器具
消火栓の蓋を開閉するための器具
- ⑥管そう（筒先）
ホースの先端に接続し放水開始、停止を先端で操作するための器具

※必要な資機材については、各団体にて準備をお願いします。

※資機材の使用方法、訓練の流れについては、「消火栓を使用した初期消火マニュアル」を参照してください。

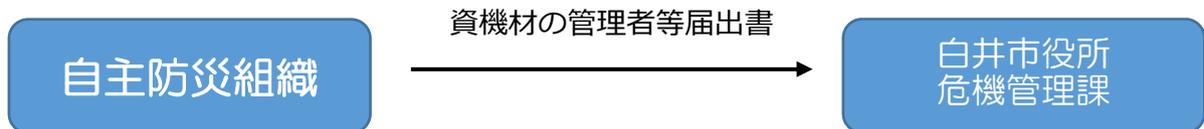


3 事務フロー

(1) 資機材購入

資機材を購入したら、白井市役所危機管理課に資機材の管理者や保管場所等を記入した「資機材の管理者等届出書」を提出してください。

また、提出後に内容に変更があった場合は、その都度、提出してください。



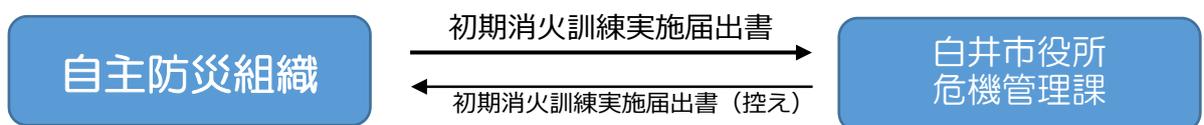
(2) 訓練実施

申請を行う前に、訓練の日程調整を白井市役所危機管理課と行ってください。

① 手続き

訓練を実施する場合、初期消火訓練実施届出書、訓練参加者名簿（5名以上）等を実施の60日前までを目途に白井市役所危機管理課に届け出てください。

（届出がない場合、訓練は行えません。）



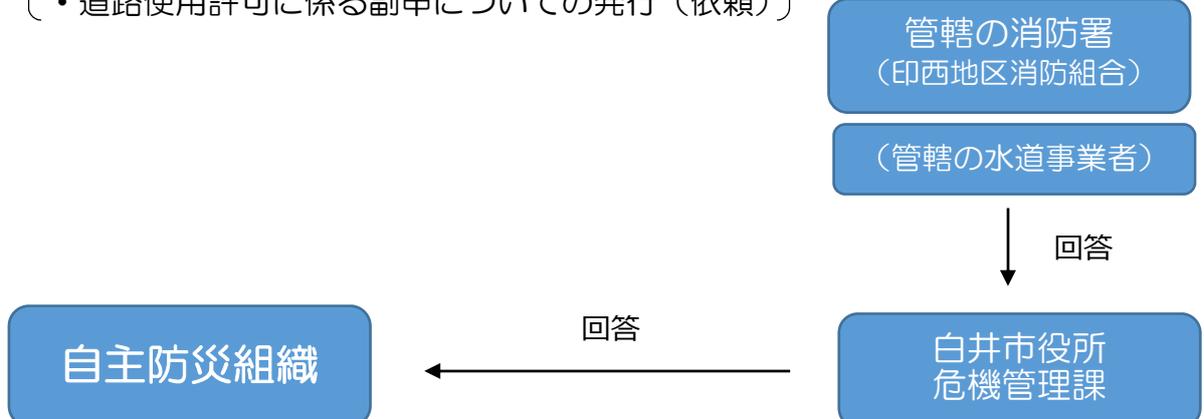
① 初期消火訓練実施届出書

② 訓練参加者名簿【任意様式】

※原則、消防本部の消火栓を使用しての訓練とします。

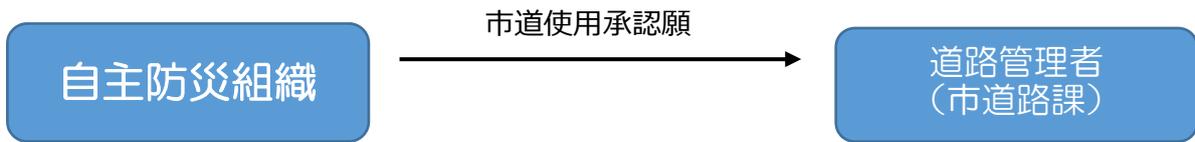
道路を使用する場合は、次の書類を提出。

- 〔 ・ 訓練位置図【任意様式】
- 〔 ・ 道路使用許可に係る副申についての発行（依頼）

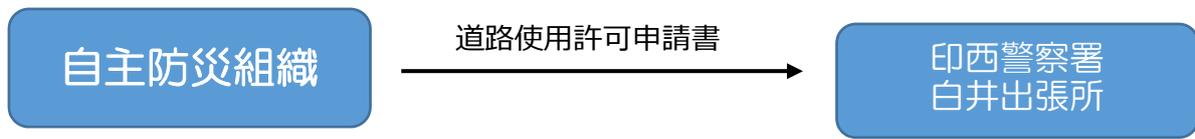


〔 ・ 道路使用許可にかかる減免について（副申） 〕

②手続き ※市道使用承認願、道路使用許可申請が必要な場合



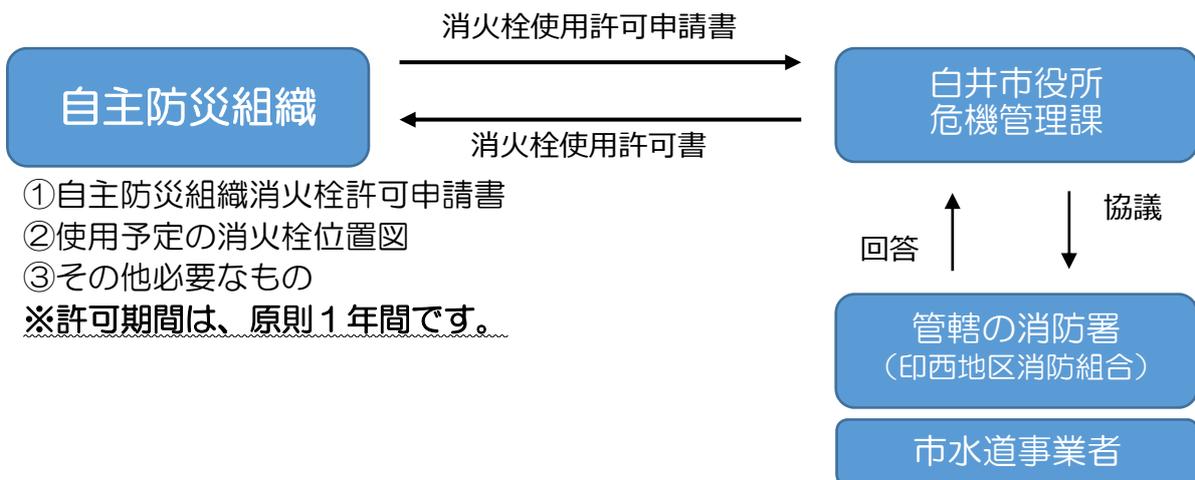
- ①市道使用承認願
- ・案内図（使用路線が分かる詳細なもの）
 - ・訓練位置図【任意様式】
 - ・初期消火訓練実施届出書（控）



- ①道路使用許可申請書
②道路使用許可証交付手数料減免申請書
- ・道路使用許可にかかる減免について（副申）
 - ・初期消火訓練実施届出書（控）
 - ・訓練位置図【任意様式】

(3) 消火栓使用許可

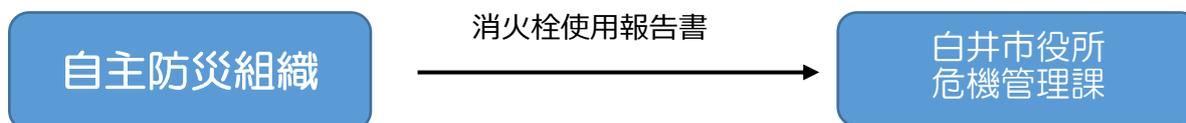
大規模災害が発生した場合に消火栓を使用するために、毎年訓練後、自主防災組織消火栓使用許可申請書を白井市役所危機管理課に提出してください。



- ①自主防災組織消火栓許可申請書
②使用予定の消火栓位置図
③その他必要なもの
※許可期間は、原則1年間です。

(4) 使用水量報告

消火活動や消火訓練で消火栓を使用した場合は、消火栓使用報告書を白井市役所危機管理課に提出してください。



<注意事項>

- ※消火活動または訓練を行うには消火作業にあたる操作人員と安全巡視員を含め5名以上必要となります。
- ※訓練実施60日前までを目途に白井市役所危機管理課に「初期消火訓練届出書」等の書類を提出してください。届出がない場合、訓練は行えません。
- ※初期消火訓練は、原則、印西地区消防組合消防本部にある消火栓を使用した訓練とします。また、訓練をする場合には、消防職員の立会が必要です。
(地区の消火栓を使用した訓練を行う必要がある場合は、市と協議とし、市で可否を判断します。その場合、水道区域内の市が管理する道路を原則としますが、交通量が多く危険な道路は使用できません。また、影響が及ぶ区域内の住民に訓練計画を周知していただきますので、周知に必要な期間を見込んで早め(2~3カ月前)の申請が必要となります。)
- ※道路上には、ホース及びホースの付属器具以外のものを設置しないようにしてください。ただし、警察署から交通安全のために指示があったカラーコーン等は除きます。また、訓練に伴って交通規制看板(規制の事前周知看板も含みます)を道路上に設置する場合は、別途道路占用許可申請が必要となります。
- ※消火活動を行えるのは、大規模災害時に消防車両の到着が見込めない場合に限りです。
- ※消火栓を使用できる箇所は、千葉県企業局(旧:千葉県水道局)と白井市上下水道課の給水区域内とし、白井市役所危機管理課、印西地区消防組合及び関係機関との協議により認められた場所に限りです。
- ※消火栓は、市民の皆さんに安全な水を安定的に給水する施設に直結した設備です。誤った方法で消火栓を使用すると、使用者に危険が及ぶだけでなく、広範囲に渡って水道水が濁る(赤水【さび水】の発生)可能性があり、濁り水を供給された水道利用者に多大な迷惑をかけ、場合によっては多大な賠償を求められることがあります。訓練を行う際は、必ず、消防職員の指導の下、安全で正しい方法で消火栓を使用してください。

資機材の管理者等届出書

年 月 日

(あて先) 白井市長

自主防災組織名 _____

代表者氏名 _____

代表者住所 _____

連絡先電話番号 _____

連絡先メールアドレス _____

必要資機材の管理者及び保管場所につき、下記のとおり定めましたので届出します。

記

1 管理者名 : _____

2 資機材の保管場所 : _____

3 活動地区 : _____

4 消火栓使用に必要な資機材等の保有状況

No.	品 名	数 量
1	(例) スタンドパイプ	1 本
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※ 保管場所及び管理者に変更が生じたときは、変更届出書を提出してください。

初期消火訓練実施届出書

年 月 日

(あて先) 白井市長

自主防災組織名 _____

代表者氏名 _____

代表者住所 _____

連絡先電話番号 _____

連絡先メールアドレス _____

消火栓を使用した初期消火訓練を行うため、下記のとおり協議します。

記

初期消火訓練内容

項 目	内 容
訓練実施日時	年 月 日 () 時から 時まで
訓練場所	
訓練目的	
訓練内容	
使用する消火栓	
訓練参加団体名	
責 任 者	

道路使用許可にかかる副申の発行について（依頼）

年 月 日

（あて先）白井市長

自主防災組織名 _____

代表者氏名 _____

代表者住所 _____

連絡先電話番号 _____

連絡先メールアドレス _____

道路交通法第77条第1項に基づき道路使用許可を管轄警察署長に申請するにあたり、副申の発行を依頼します。

記

1 初期消火訓練予定日 年 月 日

2 初期消火訓練の内容 初期消火訓練実施届出書に記載のとおりとする。

市道使用承認願

令和 年 月 日

道路管理者

白井市長 宛

使用者 住所 _____

氏名 _____ 印

電話 _____

下記箇所の市道使用について、承認を受けたく申請します。

記

1. 使用路線名及び台数

白井市道 一 号線 台

2. 目的

3. 使用期間

令和 年 月 日～令和 年 月 日

4. 添付書類

案内図(使用路線がわかる詳細なもの)、
平面図(道路接続部)、実施要綱等

上記の件について、市道使用を承認する。なお、承認条件がある場合は、当該条件を遵守すること。

令和 年 月 日

道路管理者

白井市長

別記様式第六（第十条関係）

道 路 使 用 許 可 申 請 書					
印 西 警 察 署 長 殿		年 月 日			
住 所					
申請者					
氏 名		印			
道路使用の目的					
場所又は区間					
期 間	年 月 日 時 から 年 月 日 時まで				
方法又は形態					
添 付 書 類					
現 場	住 所				
責任者	氏 名	電 話			
<p style="text-align: center;">第 号</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">道 路 使 用 許 可 証</p> <p>上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; padding: 5px;">条 件</td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">警 察 署 長 印</p>				条 件	
条 件					

- 備考 1 申請者が法人であるときは、申請者の欄には、その名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 申請者は、氏名の記載と押印に代えて、署名することができる。
- 3 方法又は形態の欄には、工事又は作業の方法、使用面積、行事等の参加人員、通行の形態又は方法等使用について必要な事項を記載すること。
- 4 添付書類の欄には、道路使用の場所、方法等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

第一号様式（第五条）

道路使用許可証交付手数料減免申請書

年 月 日

印西警察署長 様

住 所

申請者

氏 名

使用料及び手数料条例第5条第3項の規定により、次のとおり道路使用許可申請手数料を免除
されますよう申請いたします。

記

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 手数料の額 | 円 |
| 2 | 免除申請額 | 円 |
| 3 | 理 由 | 大規模災害時における自主防災組織による消火栓を使用した消火活動に
必要な初期消火訓練実施のため。 |

年 月 日

自主防災組織消火栓使用許可申請書

(あて先) 白井市長

自主防災組織名 _____

代表者 住所 _____

氏名 _____

電話番号 _____

大規模災害発生時に消火栓を使用した消火活動を行いたいので、下記の書類を添えて申請します。

記

- 添付書類
- (1) 使用予定の消火栓位置図
 - (2) 資機材管理者届出書 (写し)
 - (3) 初期消火訓練参加者一覧表【任意様式】

年 月 日

自主防災組織消火栓使用許可書

(自主防災組織名)

(代表者氏名)

白井市長

年 月 日付で申請のありましたこのことについて、下記の条件のもと大規模災害時における消火活動に消火栓を使用することを許可します。

記

1 使用予定の消火栓

別紙、使用予定の消火栓位置図のとおり

2 留意事項

- (1) 消火栓を使用する際には、周囲の状況を確認し、安全を確保したうえで細心の注意をもって行うこと。
- (2) 消火栓使用中であっても、消防署や消防団が消火栓を使用する必要があるときは、直ちに消火栓の使用を中止すること。
- (3) 消火栓を使用した場合は、使用水量等を市に報告すること。
- (4) 消火栓使用者の過失により生じた事故等に対する補償は、消火栓使用者が負うこと。

年 月 日

消火栓使用報告書

(あて先) 白井市長

自主防災組織名 _____

代表者 住所 _____

氏名 _____

電話番号 _____

このことについて、下記のとおり消火栓を使用したのを報告します。

記

使用日	使用時間	目的	使用場所	使用 消火栓	使用 水量(t)

※添付書類 使用した消火栓の位置図